

大林監督の映画が縁。前臼杵市長が本市を訪問し、交流を呼びかける

大林宣彦監督の芦別古里映画『野のななののか』が「第6回TAMA映画賞最優秀作品賞」を受賞。道内凱旋上映会が、10月25日から29日にかけて、本市をはじめ滝川市や赤平市などで行われました。

28日、芦別市民会館で行われた上映会では、大林監督があいさつに立ち、「今回の受賞は、映画づくりに携わった全ての皆さんに対して贈られたもので、芦別市民の皆さんもその対象です。おめでとう」と述べました。

また、27日には、大林監督作品のロケ地となった大分県臼杵市の前市長・後藤國利さん＝写真右から2人目＝

が大林監督と共に市役所を訪問し、荻原副市長と懇談。臼杵市で来年2月に開催される「臼杵古里映画学校」の校長を務める後藤さんは、大林監督作品を通して本市と交流の足掛かりができたことから、「地方が互いの文化を学び合い、共生していくことが大切。ぜひ、臼杵市に足をお運びいただきたい」と述べました。



台湾の高校教育旅行生が芦別高校を訪問



10月28日、台湾の高校の訪日教育旅行生が芦別高校を訪れ、交流を深めました。

これは、北海道経済部観光局との連携により行われたもので、空知管内では初めての取り組み。

訪れたのは、台中市にある中興大学附属高級中学の生徒35人と教員ら合わせて38人。

当日は、体育館で歓迎式が行われた後、両校の生徒が自己紹介やゲームを行ったほか、合同昼食会では、芦別高校生が、台湾の高校生に日本文化に親しんでもらおうと、祭りの屋台を設置。台湾の高校生は、わたあめを食べたり、ヨーヨーつりに興じたりするなど、日本の遊びを楽しんでいました。

情感あふれる語り口。50人が朗読の魅力に浸る

11月9日、声のボランティアかきんとう主催、芦別市社会福祉協議会などの後援による「朗読の集い」が市立図書館で開催されました。

元NHKアナウンサーの山田誠浩よしひろさんを招いて開かれ、今年で12回目。約50人の市民が会場を訪れました。

この日の題目は、「車坂」（宮部み

ゆき作）、「ろくでなしのサンタ」（浅田次郎作）、「鉄道員オズワルド」（内田洋子作）の3作品。

山田さんは、情感あふれる語り口と登場人物の個性に合わせた絶妙な声色で物語を朗読。参加者は、目を閉じてじっと耳を傾けるなど、朗読の魅力に浸っていました。



芦別高校の井ノ口さんが来年1月の弓道全国大会に出場へ



芦別高校弓道部の井ノ口敦啓さん（2年生）が、来年1月10日から鹿児島市で開催される全国高校弓道選抜大会に出場することになり、11月19日、清澤市長に報告するため、市役所を訪れました。

井ノ口さんは、10月に帯広市で開催された高校弓道選抜北海道大会

に出場。団体戦は7位に終わったものの、個人戦で見事優勝し、全国大会への出場権を得ました。

高校入学と同時に弓道を始め、ほとんど毎日稽古するという井ノ口さんは、市長の励ましを受け、「冬の間も稽古を重ね、集中力を切らさないよう頑張ります」と答えていました。